事業概要 【デジタルを活用した山口市シェアサイクル事業】

自治体名	山口県山口市	人口	187,796人	事業費	5,058千円
事業概要	市内に複数のポートを配置し、自転車の貸出・返却、決済までをワンストップでできるシェアサイクル事業を実施する。GBFSや蓄積されたデータを活用し、既存サービスをバージョンアップすることで、誰もが利用しやすくより利便性の高いサービスを実現し、市民や観光客等にとって満足度の高い二次交通の充実を図る。将来にわたり持続可能な社会基盤を構築することで、公共交通の利用促進や高齢者の外出機会の創出、観光地の魅力向上にも貢献する。				
具体サービス	【誰もが利用しやすくより利便性の高いサービス実現するため、既存サービスをバージョンアップする】 •2031年3月までに、ポート数60箇所、電動アシスト付き自転車200台の配置を目指す。 •GBFSの公開等により、Googleマップ等の地図アプリ、経路検索アプリ、民間MaaSアプリと連携を図ることで、利用者はシームレスな経路検索やリアルタイムの貸出可能数が確認できる。 •GPS搭載車両から得られたデータを分析・活用することで、最適なポート配置を実現し、利用者の市内周遊が容易になる。また、目的地までのラストワンマイルの問題を解消する。 •蓄積されたGPSによる移動軌跡データ等を分析することで、車両の偏在を効果的に解消し、利用者が希望するポートで貸出・返却できる。 •貸出・返却の予約機能を搭載することで、利用者は離れた場所からでも計画的に利用できるようになる。 •現在20台しかない電動アシスト付き自転車を将来的に200台に増やすことで、利用者の身体的負担の軽減、移動時間短縮、移動範囲拡大が見込める。			
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①シェアサイクル利用件数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①シェアサイクルの利用者満足度		

事業実施体制

名　称	役　割
（実施主体） 山口市	・本事業全体の統括 ・ポートの確保、申請、契約手続き ・本事業の実施に係る本市内外の関係者との調整 ・ヘルメット貸出窓口の確保 ・本事業の市民への周知及び広報、利用率向上に向けた取組　等
（運営主体） OpenStreet株式会社	・本事業の実施に係る施設及び器材の確保、整備等 ・本事業に係るシェアサイクルの運営 ・ポートの確保、申請、契約手続き ・本事業の利用者への周知及び広報、利用率向上に向けた取組 ・GBFS（General Bikeshare Feed Specificationの略称。以下、「GBFS」という。）の公開 ・GBFS の公開やAPI 連携等による、Google マップ等の地図アプリ、経路検索アプリ、民間MaaSアプリとの連携　等

具体的な使途

名　称	金額（千円）
GPS機器を搭載したスマートロック	3,750
ビーコン	858
GPS通信費	450
経費合計	5,058

※当該費用はすべて、運営主体への事業負担金として支出